

新庁舎建設基本計画策定委員会市民部会

第3回第3分科会 議事要旨

日時：2004年9月11日 9時30分～12時15分

場所：町田市森野分庁舎4階 第4会議室

出席委員：木美分科会長、浅井副分科会長、加来委員、北條委員、前田委員、八木委員、米山委員、福久委員

傍聴者数：0名

主な議題：1．前回議事要旨の確認
2．新庁舎建設予定地の見学
3．「町田市新庁舎建設基本構想」における「まちづくり」に対する考え方
4．討議
5．次回以降の検討テーマについて

審議内容：

< 今回のまとめ >

- ・ 新庁舎建設予定地を見学し、各委員の思う新庁舎建設への夢や課題について、自由な議論を行った。
- ・ 新庁舎建設予定地の感想として、「広い」「騒々しい」「歩行者、自動車のアクセス路の検討が重要」との感想があった。
- ・ 歩行者が町田駅から安心して来庁できるアクセス路の確保が重要との意見が出された。そのため、庁舎までの複数ある経路のなかでの歩行者動線の検討、歩道の拡幅可能性等について議論が行われた。
- ・ 町田らしい街づくりをリードする庁舎とはどのようなものか議論したいとの意見が出された。

< 次回への継続事項 >

- ・ 次回は「庁舎敷地がめざすべき空間像」について議論を行う。
- ・ 敷地内での庁舎の配置イメージと高さについて複数パターンについて事務局にて資料を作成する。
- ・ 町田への流入人口の構成について事務局にて資料を作成する。
- ・ 歩道の拡幅可能性について事務局にて確認する。

議事要旨

1．前回議事要旨の確認

2．新庁舎建設予定地の見学

(現地見学)

3．「町田市新庁舎建設基本構想」における「まちづくり」に対する考え方

(「町田市新庁舎建設基本構想」に沿って説明)

4. 討議

建設予定地のイメージについて

- ・ 現地を見て、「広いこと」「騒々しいなあ」という印象がある。横浜線の騒音が大きく、広場空間があってもイベントの開催が難しい。音楽の演奏等もかきけされてしまう。
- ・ 線路反対側の崖線の緑をとりこんだ庁舎。庁舎と線路の間に植栽等や地形の変化を持たせることで騒音に何らかの対応を施すことができるだろう。

庁舎敷地の植栽等について

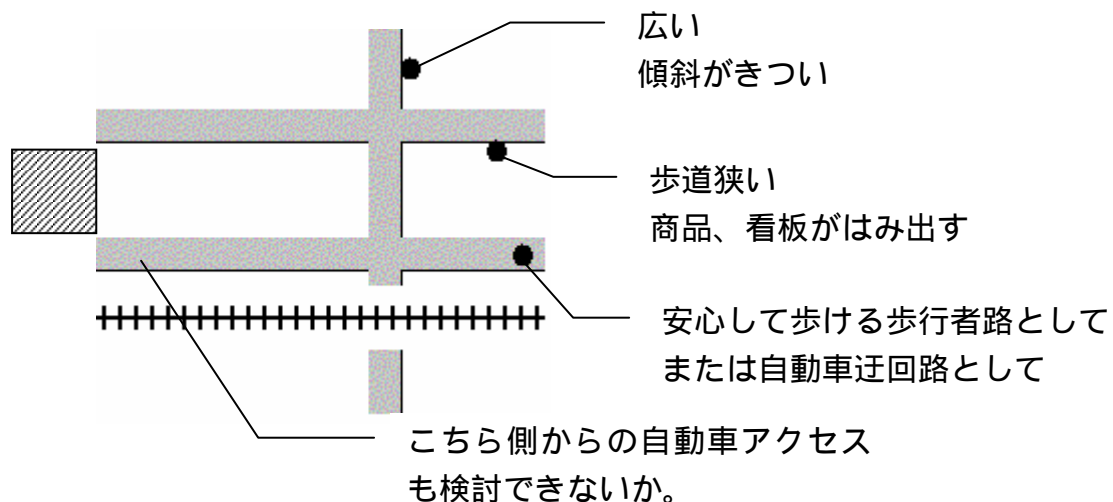
- ・ 街路樹や広場空間等にどんな樹木が相応しいかも検討してはどうか。町田の木や花を植えることも考えられるだろう。
- ・ 最近の街路樹は管理しやすさからハナミズキが選ばれることが多い。

庁舎建設が周りにどう影響するか

- ・ 建物配置や、階高が周辺に与える影響に配慮する必要がある。
- ・ 現在、周辺に商店が少ないが、新庁舎ができれば変わってくるだろう。機能が複合化されれば、多くの人を訪れるのではないか。
- ・ 庁舎が中心となって活気づき人が集まってくると周辺に波及する。

安全して歩行できるアクセス路の確保

- ・ 町田街道の歩道の幅員が狭く、人と自転車のすれ違いが安全ではない。また、車椅子・高齢者、ベビーカーにとって歩きにくいのではないか。
- ・ 道路付け・アクセスに関するの現在の問題は下図の通りとを感じる。



- ・ 道路幅員を広げることは現状ではなかなか難しいのではないか。
- ・ 一般的に、道路整備の考え方は、かつては自動車道路優先であったが、最近では歩行者中心に変わりつつある。
- ・ 都市計画道路では、車線を削って歩道幅を拡幅することは難しい。
- ・ 駅周辺の歩道に設置されたバス停が、有効幅員を狭めている。バス停の配置検討が必要

だろう。バス路線を再検討することにより、全てのバス路線が町田駅集中でなくてもよいのではないか

- ・ 車道を削って歩道を広げられるか確認が必要だろう。例えばバスレーンは本来不要ではないか。時間帯別にバス専用レーンを運用するとともに、一般車両車との棲み分けなど、うまくコントロールすれば歩道を広げられる。
- ・ 境川、恩田川の川沿いルートは安らげる。
- ・ 楽しく歩ける歩道づくり。デッキよりは周辺を楽しめる歩道づくりをしてほしい。
- ・ 市役所への来庁目的を見れば、自分の用のために来る人が多い。町田駅から速やかに市役所に行き着きたい人が大半だろう。楽しい歩行アクセスも重要だが、早く市役所に行きたい歩行者のアクセスが重要だろう。

バス・自動車によるアクセス

- ・ 市役所前バス停ができるだろう。市庁舎までの渋滞しないバス路線の確保が必要だろう。そのためには、市全体の交通政策の視点から交通需要をコントロールする必要があるだろう。
- ・ 相模原方面からの自動車アクセスについても検討が必要ではないか。
- ・ 現在バス専用レーンは、一般車両も流入しており機能していないのではないか。
- ・ 八王子のバスレーンは時間帯規制（通勤）を実施している。町田はバスの利用率が高いので、時間帯ルールの運用が有効か。

駐車場

- ・ 来庁の交通手段を見ると、大半が「車」による来庁となっている。
- ・ 来庁の目的は単一ではない。買い物ついでに車で来庁するケースが想定される。
- ・ 駐車場が無料だと買い物目的の人が止めてしまうことも考えられる。

本庁舎の機能

- ・ 新庁舎では分断している分庁舎の機能を集約する一方で、各地の支庁は市民の窓口機能を強化することが必要だろう。

町田らしさをリードする庁舎

- ・ 街並みをリードする庁舎、誰もが誇れる街づくりが必要だろう。
- ・ 親しめる“まちだ”らしさ、町田の歴史文化を誇り、“まちだブランド”を創出する庁舎づくりが求められる。
- ・ 町田には多くの歴史資源があるが、市民にあまり知られていない。町田は情報共有、市民PRがうまく機能していない。
- ・ 町田駅前の街はかつて強い集客力があつた。現在はごちゃごちゃした街となってしまった感がある。

建物の大きさと位置

- ・ 予算が決まっている中で、どんな建物が可能か示して欲しい。

- ・ 建物の基本的な諸元などの、合理的な原案資料がほしい。
- ・ 具体的な建築物イメージは想定されていない。
- ・ 役所だからできる空間利用。高層も視野に検討したい。
- ・ 建物のアウトラインがあると良い。基本ケース・高層ケースについての位置・配置のシミュレーションを示してほしい。

町田への流入人口

- ・ 小山地区では住宅供給、鶴川地区では区画整理が進行している。今後も人口は増え続けるのではないかと。町田は福祉の街として人気が高いのではないかと。
- ・ 町田に流入する人口が、若い世代か老年世代か、町田に流入する人口の構成について把握しておく必要があるだろう。

5. 次回以降の検討テーマについて

- ・ 次回以降は、個別テーマに絞って深い議論としたい。
- ・ 第4回は「庁舎敷地がめざすべき空間像」、第5回は「庁舎へのアクセス路について(自動車、公共交通、徒歩等)」、第6回は「周辺環境に配慮した庁舎とは」をテーマとして議論をおこなう。第7回では、第4～6回の議論の中で積み残しとなったテーマ・事項について議論することとする。

分科会で使用した資料

- ・ 前回分科会の議事要旨(案)
- ・ 第3分科会(まちづくり)次回以降の分科会の議題について
- ・ 「町田市新庁舎建設基本構想」

以上